



10月！ポーポキが住む町では、気温がだんだん下がっているけれど、晴れた日が多いです。秋の雲を見るのも、秋の夜の星を見るのも好きです。あなたも空を見上げて、雲や星を楽しんだりしますか。

## Popoki's Hot News!



NEW

ロニー・アレキサンダー編著

『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る～』神戸大学出版会 2022.2.22 発行



ポ一年会！12月17日に決定！

詳細については8ページをご参照。

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だち東もりにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。

「晴れた日の洗濯物が干されている光景に平和を感じます。

一人分でも何人分でも。

それは、自分自身を、誰かをケアしている、もしくは誰かにケアされているという証だと思うから。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

# Popoki's Video Gallery

ポーポキの動画をぜひみてください！

ポーポキのマスクギャラリー～新型コロナウイルス感染拡大を生きる

<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

ポーポキのおうち

<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

ポーポキと一緒に平和のパクパクをつくりましょう！

<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

ポーポキのピースマップ

<https://youtu.be/4t4PFV-dRBg>

ロニー・アレキサンダーの最終講義（ポーポキではないが、お許してください）

「大きな夢と小さな島々～30年間でふりかえって、そして明日へ」

<https://youtu.be/trbxJSP7-CY>

日本平和学会 関西地区研究会主催 <ウクライナ戦争への視座——平和学から考える> 「私たちが見えていないもの、そしてモヤモヤ感」

語り手 安齋郁郎、ロニー・アレキサンダー

聞き手 奥本京子、遠藤あかり

<https://www.psaj.org/chiku-kansai/> からユーチューブへ

英語だけど、ESPN  
のミニシリーズ  
‘Title IX’も観て！  
ろにゃんは第2部  
に登場！



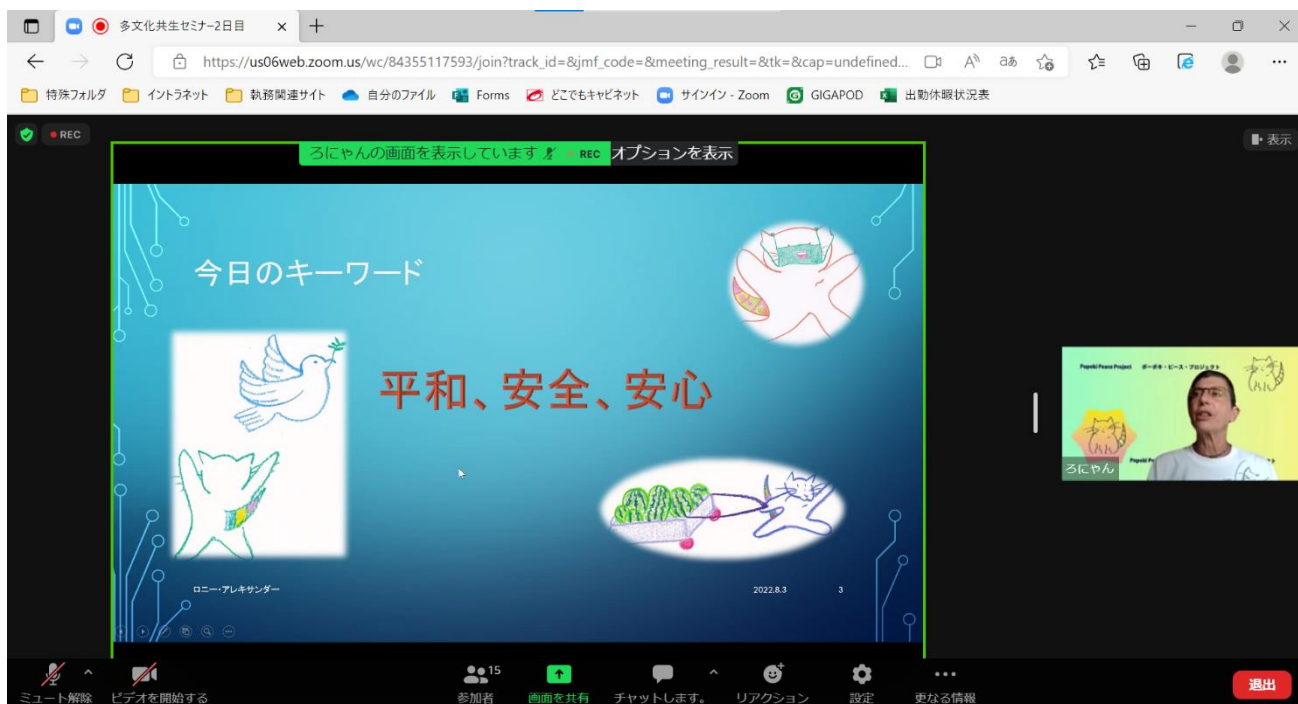
去る2022年8月2日～8月5日まで、第19回多文化共生のための国際教育・開発教育オンラインセミナーが開催されました。オンラインでの開催は3回目となり、SDGsのこと、ダイバーシティのこと、難民問題のことなどなど、基調講演と7つの分科会を通して、共に生きる地球社会の実現に向けて、期間中200名を超える教職員や学校関係者、そして学生たちが語り合い、そして学びを得ました。オンラインの優れた点は、遠くからも参加が可能になること。今回も兵庫県だけではなく、はもちろん関西圏からのご参加に加え、遠方からのご参加もありました。

「ねこのポーポキと一緒に安全・安心を 考え、平和をつくりましょう」という題名で、神戸大学名誉教授ロニー・アレキサンダー先生による「ポーポキ」、そして「ポーポキ・ピース・プロジェクト」のご紹介から分科会はスタートしました。そして最初に、この日のキーワードとなる「平和」「安全」「安心」という言葉が確認されました。

まずは、緊張している気持ちと身体をほぐしていくために、最初は、さとにゃんの指名で、当てられた参加者が考えて、みんなで楽しく身体を動かすポガを行いました。そして各グループでのいろいろなお話しを経て、最後には泣いているポーポキに「安心」と「平和」をもたらすためのストーリーをつくることまで展開されました。

最初は、緊張もあり、Zoomで顔出しされていない方もいらっしゃいましたが、今年もポーポキがその参加者の状況をすこしずつ変えていきました。ポーポキを通じて、ろにゃんやさとにゃんのメッセージが参加者へ伝わっていく。さらには、参加者から参加者へ、少しずつ、少しずつ伝わっていき、次第に何かやわらかく、あたたかく、何かホッとしたり気持ちになってきて……。そしていろいろなお話しの中から、自ら気づきを得ていくことで、どんどんポーポキの世界へはまり込んでいく、そのような感覚がありました。

いつも感じるのは、「平和」「安心」「安全」というキーワードを考えると、その空間や、そこにいる人の関係性など、その考える場において、それぞれが「安全」で、「安心」できる状況でないと、それについて考えることはできない。だから今、ここが「安全」で「安心」できる場となるように、そこにいる人たちが創ろうとする世界がとても大切であるということです。ポーポキがいるとそれが可能となります。ポーポキのことをよく知っているろにゃんやさとにゃんがいると、それがスムーズに進んでいきます。ポーポキと先生方に引っ張られ、参加者や私は、その世界に入り込んで



いくこととなります。今回、参加された先生方が自分たちの学校に戻り、子どもたちと一緒にポーポキの世界に入っていき時間を持っていただいて、「安全」「安心」のなかで、平和を考えてほしいと願っています。

The screenshot shows a Zoom meeting interface. The main window displays a presentation slide with the following content:

### ポーポキ友情物語活動 ～東日本大震災の被災地に「平和」を～

- お絵かき活動:一つひとつの絵は大事な物語
- 「安心」というキーワードを獲得した
- 真の平和には、安心や希望、つながりが必要
- 絵は口に出せない・出さないことを表現するに役立つ
- 安全と安心は必ずしもいつもセットではない
- 聞いているつもりでも聞こえてこない物語がある

Below the slide, there is a small image of a person drawing and a drawing of a cat with the text "Popoki Friendship Song". The date "2022.8.3" is visible at the bottom right of the slide.

The gallery view shows three participants:

- あつかる, つながる (ZOOM 神戸YMCA)
- ろにやん (Popoki Peace Project)
- さとにやん (Popoki Peace Project)

The bottom of the screen shows the Zoom control bar with 17 participants, a share button, chat, reactions, settings, and a red "退出" (Logout) button.

ポーポキ・ピース・プロジェクト <http://popoki.cruisejapan.com> ・ [ronniandpopoki\(at\)gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)



コロナ感染の流行によって開催中止の措置をとっていた灘チャレンジが、今年3年ぶりに、規模を縮小という形で開催に漕ぎ着けました。灘チャレンジは、1995年の阪神・淡路大震災からの復興を願い、神戸大学生と地域の人が協働してはじめたのが始まりです。3年ぶりの開催には、大学卒業生もたくさん応援に来てスタッフとしてかつての学生の時のように各ブースを回っていました。（実は、コロナの前に最後に開催した灘チャレンジはスタートをできたけれど、30分ぐらい経ったところで大雨暴風警報のために中止になりました）。

灘チャレンジに毎年参加をしていたポーポキ・ピース・プロジェクトも、張り切って参加しました。しかし、直前になり最強台風14号のニュース。とても心配しましたが、強風だったものの、雨は降らず無事最後までイベントを楽しむことができました。

感染対策もあり、開催時間は13時から16時と短縮されており、私たちのブースも、例年みんなが大好きな「チョークお絵描き」はおあずけでしたが、さとにゃん考案の「息を使わないシャボン玉」を準備しました。当日は、台風による強風がむしろ絶好のシャボン玉日和でした。

すごい勢いで飛び出し続けるシャボン玉に、一緒に遊んだお友達や親御さんはびっくり。うまく飛ばすには、風の向きを感じて、体や手の持つ位置を変えたりと試行錯誤しながら取り組みます。子どもはそれを自然にやったり、大人は要領はわかっているのに思うように出なかったりと悪戦苦闘。うまく出そうとコントロールするのではなく、自然に任せるところが面白い。でた！今後は、出ない！といつまでも永遠に続きます...

みんながしゃぼん玉に集中しているその様子は、まるで風と一緒に遊んでいるようでした。途中、とうわにゃんもととにゃんと一緒にやってきました。とうわにゃんもブースで「いらっしゃい、いらっしゃい〜」と試してみたり、一緒にお友達とシャボン玉をやってみたりと、初ポーポキブース体験でした。

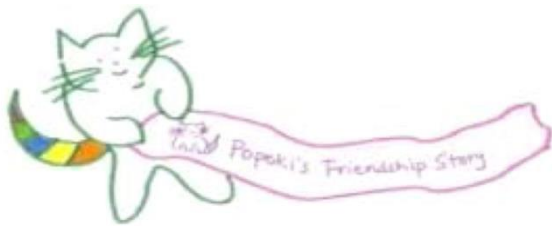
しゃぼん玉の他にも、ポーポキのブースは短い時間ながらとても盛況でした。ポーポキのTシャツ、絵葉書、ポーポキの絵本、マスクギャラリーの本をいろいろな方がポーポキの活動を気に入って購入してってくれました。たくさんポーポキの仲間ができました。

そのほか、嬉しいこともありました。灘チャに関わる人には、ポーポキのお友達もたくさん関わっています。久しぶりに会う人たちが、みんな声をかけてくれました。規模は縮小されても、いつもの場所に集えた喜びの笑顔にたくさん出会えました。そして、一番のサプライズがありました。それは、この灘チャで小学校低学年の時にポーポキのお友達になってくれたたいきにゃんが、家族で訪れてくれたのです。すっかり成長して背の高くなったたいきにゃんに会えて、それだけでもとても嬉しかったのですが、絵の勉強を始めたという彼が、なんとろにゃんに生前のポーポキの絵を描いてプレゼントしてくれたのです。それには本当にびっくりしました。ポーポキのブースにポーポ

キがやってきた！生前のポーポキを知る数少ないにゃんメンバーの私、もりにゃんも、まるで本当に突然ポーポキがやってきたようで、とても嬉しくなりました。

3年ぶりの灘チャでは、つながり、成長を感じるものでした。新しいポーポキのお友達がまたつながり、こうしてつながっていくのだな、と感じることのできる灘チャレンジでした。





## \*Popoki's Interview\*

\*最近は、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回、やらのゃんはお祖母さんをインタビューしました！

\* 今月はお休みをさせていただきます。また11月にお会いしましょう！

## ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 174 今月のテーマは、上半身をストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
  2. では、立ちましょう。左手首を右手でもって、ゆっくりと右方向へストレッチ！下半身を動かさないようにね。今度は反対方向へ行ってみよう。右手が左手首を持つんですね。数回繰り返しましょう。
  3. 次は、手を横へ広げ、小さな小さな円を腕で描きましょう。動きをだんだん大きくして、最大に大きくなったら、まただんだん小さくしていきましょう。今度は反対方向に円を描きましょう。
  4. さて、今度は頭の上に手をあげて、横へ、前へ、反対側へと大きく回しましょう。反対方向もやってみましょう。繰り返しましょう。でも、目が一緒に回らないようにしてね。
  5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。



# 一緒にいかが？ 次回のポー会：2022年11月21日 Zoom 19:00～\*

\*\*\*リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

12.17 ポー年会 18:00～ オンライン. 準備：考える（&持ってくる？）：自分の健康+場所+食べ物（平和な食べ物はどこで食べる？健康との関係は？平和な場所で食べるもの？健康との関係は…など。）

2023.2.1 午後？ 大船渡市立北小学校のみなさんと WS

2023.3.5 びっくり箱イベント

ポーポキの友だちからのおすすめの本等



- ・『りょうくんのすずむみちー学校に行けない君たちへ』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー&桂木聡子 (2020) 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17-32 (2020年1月発行) [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/detail](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail)

**全編日英対照**

**神戸大学出版会**

## ポーポキの マスクギャラリー

～コロナ禍でアートを通して  
日常の安心を探る～

編者・絵 **ロニー・アレキサンダー**  
Written, edited and illustrated by Ronni Alexander

**令和4年3月  
発売!!**

**A5判・192ページ  
定価 2,420円(税別)**

**【本書の内容】**

**前書き**

**第一部：ことばの旅**  
「ことばの旅」への誘い

**第二部：「お絵描き」の旅**

- ① 物語を描くということ
- ② ぐちゃぐちゃ
- ③ 色たち
- ④ いかなきや(桂木聡子)
- ⑤ 2021.1.17に想う
- ⑥ 乱れ
- ⑦ プール

**第三部：「ふりかえり」の旅**  
「ふりかえり」の旅

- ① ポーポキのマスクギャラリー — 基盤となる日本人の伝統的根考法を考える—(高田西)  
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)
- ② 対談：アナ・アガサングロウとロニー・アレキサンダー(世界国際関係学会年次研究会大会2021年)  
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021)
- ③ ポーポキの旅：ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり(ロニー・アレキサンダー)  
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

**後書き：新たな旅**  
今度はあなた

**Prologue**

**Part I: A Word Journey**  
An Invitation to take a Word Journey

**Part II: A Drawing Journey**  
The Meaning of Drawing Stories  
All Messed Up  
Colors  
I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)  
Thoughts on 17 January 2021  
Confusion  
Pool

**Part III: A Journey of Reflection**  
A Journey of Reflection

**Epilogue: A New Journey**  
Now it is Your Turn

発行：神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>  
神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

発売：神戸新聞総合出版センター  
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

アマゾンで買えるよ!



- ロニー、アレキサンダー、桂木、聡子、勅使河原、君江 「被災者の多様で個別的な安心についてお絵描きを通して思索する活動」 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』15(2) 53-65 2022-03-30 JaLCDOI 10.24546/81013202
- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. JaLCDOI 10.24546/81011967
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア37団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー“人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO: 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの(連載)とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] [http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602\\_ja](http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja)
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 『「ポーポキ、友情って、なに色?」』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通 信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: [blrhyg@osk3.3web.ne.jp](mailto:blrhyg@osk3.3web.ne.jp) FAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジア・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)



## 私にとってポーポキ

たいきにゃん

最近のロシアウクライナについてのニュースを見ていると、僕にとっての平和の象徴であるポーポキのことが頭に浮かびました。その時、ロニー先生と話がしたいなと思いました。

昔から僕が絵を描いているとろにゃんが笑ってくれたので絵をプレゼントしようと考えて、ろにゃんの親友であるポーポキを描きました。

ポーポキを描いている最中、写真にポーポキは真っ直ぐな綺麗な瞳をしていて、可愛さの中にかっこよさがありました。

描いた絵を渡しに灘チャレンジでろにゃんに久しぶりに会いにいきました。

ろにゃんと喋っているとポー会によく来ていた時の思い出が蘇り、とても懐かしさを感じました。またろにゃんと一緒に絵を描きたいです。



どんなに驚き、どんなにうれしかったか。本当にありがとう！

(写真はお許しいただきたい)。ろにゃん

## ポーポキ通信はお楽しみいただきましたか



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東

日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、[popokipeace@gmail.com](mailto:popokipeace@gmail.com)へ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸



ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。

